

## 世界連盟理事長と世界連盟事務局長のメッセージ

### 2020年のワールドシンキングデイ「In Our Hands 私たちが行動する」

2020年2月22日は、私たちが国際的な友情を祝う日であり、94回目のワールドシンキングデイとなります。この日は、世界中のガールガイド・ガールスカウトの声が一つとなって私たちの運動を祝い、感謝の気持ちを伝えあい、創始者をたたえて資金調達をします。

ワールドシンキングデイは、3年間続く一連のテーマでの活動が昨年から始まりました。

2019年 リーダーシップ

2020年 多様性、包摂性、公正性

2021年 平和構築

昨年は、ガールスカウト運動の歴史を学ぶというわくわくする旅に出かけ、WAGGGSの新しいリーダーシップの考え方に基づきリーダーシップ能力を実践しました。

今年のワールドシンキングデイ活動パックは「生き生きとしたカラフルな糸のように」と名付けられました。さまざまな活動を通して、他者の視点から世界を見つめ、公正性を促進し、包摂性を大切にすることにより、WAGGGSの新しいリーダーシップの考え方の6つのマインドセットの一つである「ワールドリーマインドセット (Worldly Mindset)」を探求することができます。皆様と継続して活動できることをうれしく思います。

今年のワールドシンキングデイのテーマは「多様性、包摂性、公正性」です。1本1本の糸は織られてつながることにより、大きく強いものになります。この糸と同じように、私たちは一人ひとりが特別であり、等しい価値を持つ存在です。

ワールドシンキングデイを祝う際には、公正性と包摂性をどのように実践できるか、自分のコミュニティやさらに広い範囲でどのように多様性をたたえることができるかを考える時間を取りましょう。私たちは、多様性豊かな包摂的な世界を目指しており、それは私たちから始まるのです。

私たちがワールドシンキングデイに多様性、包摂性、公正性に取り組む姿勢として、2023年までに30歳以下の世界連盟理事を2人以上に増やすよう努力します。これにより、世界連盟理事は、この運動が支持する若い女性を代表する声となることができると信じているからです。より包摂的な世界を目指すために、あなたにできることは何でしょうか。

ガールスカウト運動は、少女と若い女性が学び、先導し、世界市民として前向きな変化をもたらすために行動を起こす多くの機会を提供し続けます。若者にこのような生き方を変える経験を生み出すために貢献してくださっている、世界中の150万人を超えるボランティアの皆様には感謝いたします。皆様の熱意が私たちを鼓舞し、導いているのです。

世界中で取り組まれるワールドシンキングデイの活動を楽しみにしています。

世界連盟理事長  
アナ・マリア・ミデロス

世界連盟事務局長  
サラ・ナンコラス